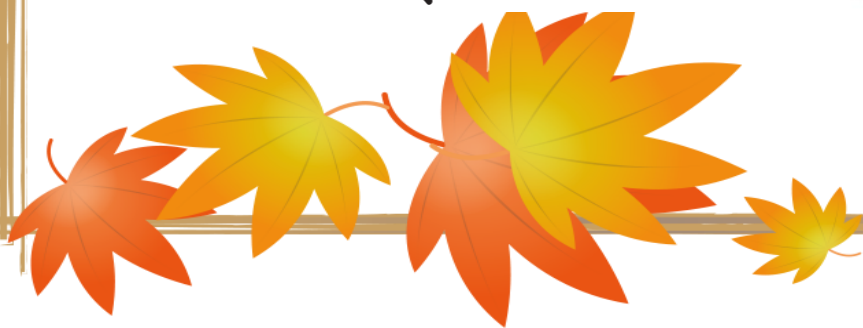


国立女性教育会館 女性教育情報センター テーマ別図書案内

本、あり<sup>ます</sup>☑。

-?を!に変える本との出会いを見つけるマガジン-  
///Vol.36///

# 新型コロナウイルス 感染症とジェンダー



# 新型コロナとジェンダー

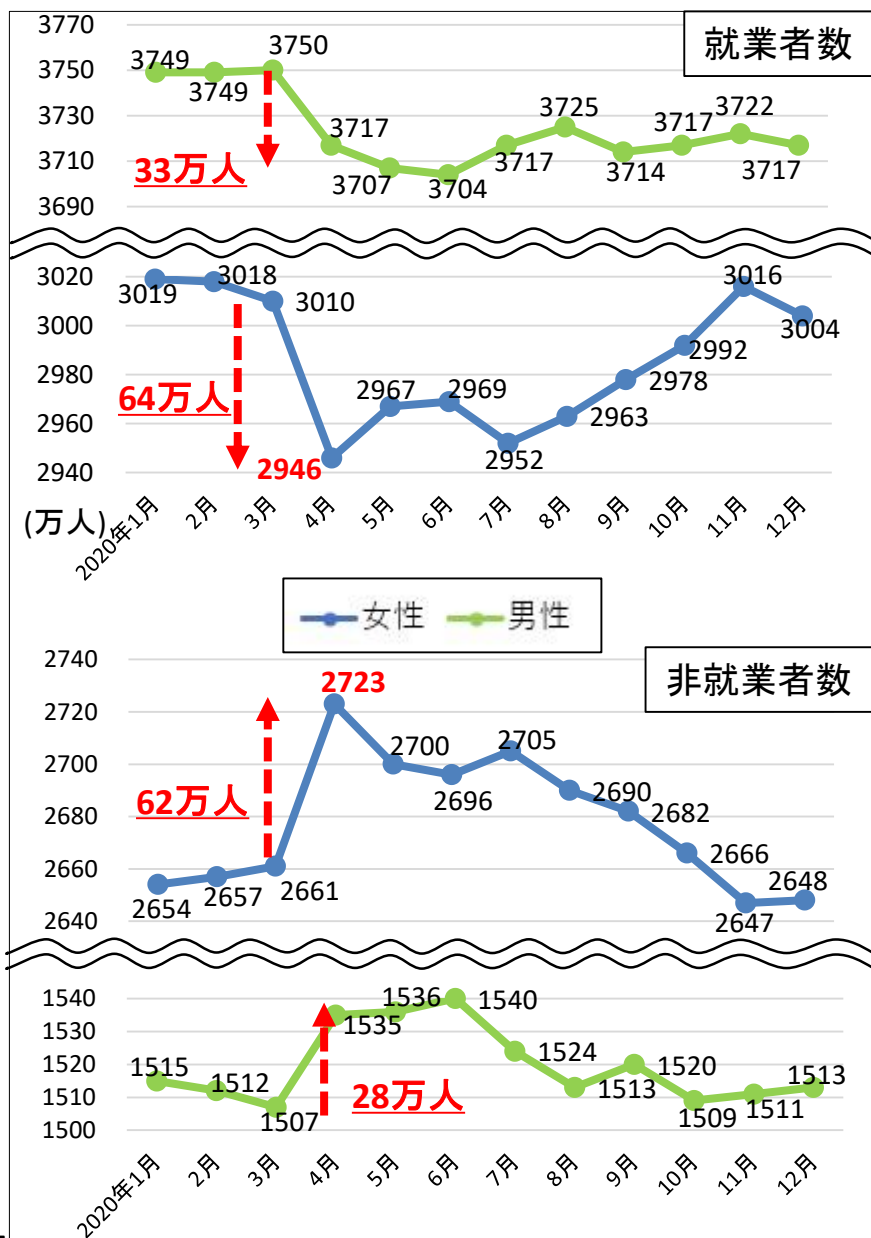
2020年から流行した新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、女性たちの仕事や生活に深刻な影響を与え、様々な問題が浮き彫りになりました。

## コロナ禍における主なジェンダー問題

- ・女性の就業者、雇用者の減少
- ・休業者の増加
- ・失業、休業、勤務時間減による収入減
- ・シングルマザーなどひとり親世帯の生活苦
- ・DV、性暴力の増加
- ・妊娠、出産環境への影響
- ・自殺者の増加
- ・休校、休園による家事や育児など無償ケアの負担増

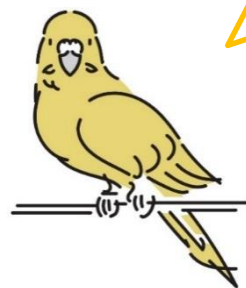


参考:内閣府男女共同参画局「コロナ下の女性への影響と課題に関する研究会報告書」  
[https://www.gender.go.jp/kaigi/kento/covid-19/siryu/pdf/post\\_honbun.pdf](https://www.gender.go.jp/kaigi/kento/covid-19/siryu/pdf/post_honbun.pdf)



## 就業者・非就業者数

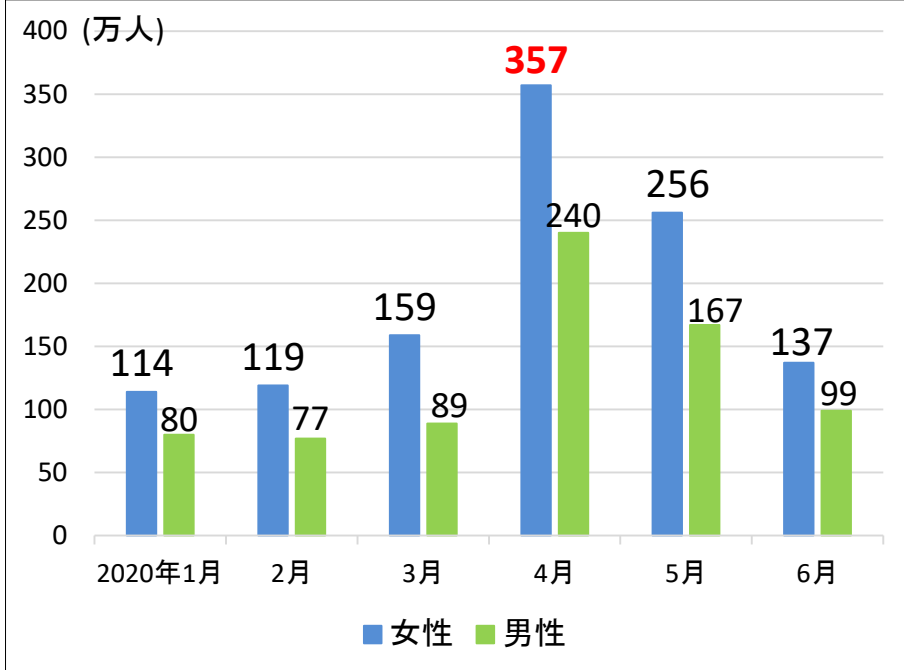
初めて緊急事態宣言が発令された2020年4月、男女とも大幅に変動しています。就業者は男性33万人減に対し女性は64万人減、非就業者は男性28万人増に対し女性は倍以上の62万人増で、女性への影響が非常に大きかったことがわかります。



※総務省「労働力調査」基本集計より作成

## 休業者数

2020年4月に大幅に増加しました。  
特に女性の休業が突出しており、収入が減った女性も多くいました。



※総務省「労働力調査」基本集計より作成

## DV相談件数

	配偶者暴力 支援センター	DV相談プラス
2019年度	119,276	
2020年度	129,491	52,697
2021年度	122,478	54,489
2022年度	122,211	47,971

2020年度以降は、前年度に比べて配暴センターへの相談件数だけで約1万件の増加、4月に内閣府が始めた「DV相談+(プラス)」の件数も含めると、約1.5倍に増加しています。



※内閣府男女共同参画局「配偶者暴力相談支援センターの相談件数」より作成  
[https://www.gender.go.jp/policy/no\\_violence/e-vaw/data/01.html](https://www.gender.go.jp/policy/no_violence/e-vaw/data/01.html)

## 令和3年版 男女共同参画白書



内閣府

## 令和3年版『男女共同参画白書』 特集「コロナ下で顕在化した男女共同参画の課題と未来」 内閣府男女共同参画局 2021

コロナ下の就業や生活について、ジェンダーの視点から多くの統計データを整理・分析しています。  
就業面では女性の雇用労働者の減少や休業者の増加、生活面ではDV、性暴力、女性の自殺者の増加がみられます。ひとり親世帯では母子世帯の完全失業率の増加などの影響が出ています。



[https://www.gender.go.jp/about\\_danjo/whitepaper/r03/zentai/index.html](https://www.gender.go.jp/about_danjo/whitepaper/r03/zentai/index.html)





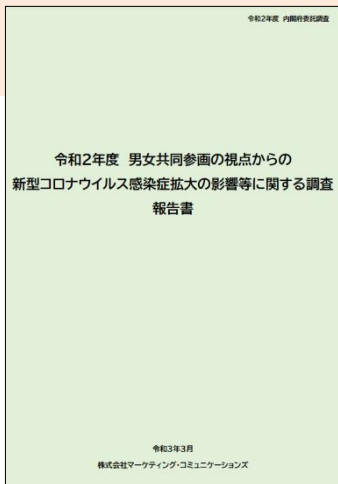
# 新型コロナとジェンダー

コロナ禍のジェンダー問題について知りたいです。



## 令和2年度『男女共同参画の視点からの新型コロナウイルス感染症拡大の影響等に関する調査報告書(内閣府委託調査)』

マーケティング・コミュニケーションズ 2021



コロナ禍の雇用や生活等への影響について、性別による差異を調査・分析したものです。

家事・育児時間や仕事への影響については、男性よりも女性(特に小学3年生以下の子どもを持つ女性)が影響を受けやすかったこと、シングルマザーは有配偶女性に比べて家計や仕事に関するストレスを感じやすかったことなどが分析されています。



[https://www.gender.go.jp/research/kenkyu/covid19\\_r02.html](https://www.gender.go.jp/research/kenkyu/covid19_r02.html)



## 『コロナ禍とジェンダー(年報政治学 2022-1)』

日本政治学会編 筑摩書房 2022



ジェンダーおよびフェミニズム政治学の視点に基づいて、コロナ禍における各国の政治経済を、歴史も含めて再検討した論文集です。

各論文は、コロナ禍で浮き彫りになった女性の状況を整理し、その事態をもたらした社会構造を政治システムの問題であると指摘しています。日本の場合は、家族を中心とする社会体制や性別役割分業のために女性不況をもたらされたとし、女性への保障が不可欠であることを論じています。



[https://www.jstage.jst.go.jp/browse/nenpouseijigaku/73/1/\\_contents/-char/ja](https://www.jstage.jst.go.jp/browse/nenpouseijigaku/73/1/_contents/-char/ja)



## 『コロナ禍の労働・生活とジェンダー』

昭和女子大学女性文化研究所編 御茶の水書房 2023



コロナ禍における女性の就業継続、雇用平等、エッセンシャルワーカー、家族介護、趣味・レジャー、気候危機についてジェンダーの視点で考察・研究し、課題を提示し、展望を述べ、政策提言を行っています。

非正規雇用割合の多い女性が男性以上に影響を受けている一方、女性活躍に力を入れている企業はコロナ禍でも柔軟に対応できた事例なども紹介されています。





## 『新型コロナウイルス ナースたちの現場レポート』 日本看護協会出版会編集部編 日本看護協会出版会 2021

看護職162人による、2020年1～12月の医療・ケア現場の仕事と生活のレポートです。700ページ以上にわたって、病院、保健所、福祉施設、ホスピス、訪問看護、分娩・小児医療などの現場で起きていたこと、日々の暮らしの中で感じたことが、臨場感をもって書かれています。コロナ禍の出産やDV被害など女性に関する問題への対応のほか、最前線で働く看護職やその家族への差別についても記録されています。

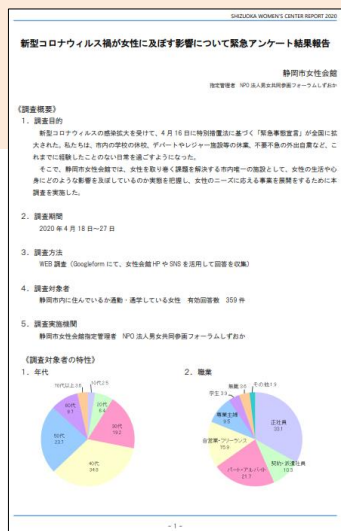
## 『新型コロナウイルス深刻化する母子世帯の暮らし：1800人の実態調査・集計表（確報）』 しんぐるまざあず・ふおーらむ シングルマザー調査プロジェクト 2020



コロナ禍の対策や支援策によってシングルマザーの生活や仕事などがどのような影響を受けたのかを調べた実態調査です。雇用や収入に影響があったシングルマザーは7割を超え、感染すると家族のケアができなくなるため自発的に仕事を休んだり退職を余儀なくされたことなどがわかります。



[https://note.com/single\\_mama\\_pj/n/n213a01adecde](https://note.com/single_mama_pj/n/n213a01adecde)



## 『新型コロナウイルス禍が女性に及ぼす影響について緊急アンケート結果報告』 静岡市女性会館 2020

2020年4月の緊急事態宣言全国拡大から、わずか2日後に行われたWeb調査です。静岡市内に在住または通勤・通学している女性359人の回答を集計しています。働き方や家庭生活の変化、収入や心身への影響についての実態とともに、自由記述の「困りごと」からは女性たちが当時置かれていた状況がリアルに伝わってきます。



<https://aicel21.jp/wp/wp-content/uploads/2020/12/c947ad09bd15f25cf4af76ca5fc4dcc8.pdf>



労働、家庭生活、妊娠・出産・育児など、女性に関する多くの問題が浮き彫りになったのですね。





## 体験記・記録

個人の日記や体験記からも、当時の様子を知ることができます。  
社会で活動していた人たちも記録を残しています。



### 『日本列島全国会員が語る「私のコロナ体験記」』 高齢社会をよくする女性の会 2020



「日本の高齢者の置かれた状況を記録し共有したい」という、会長の樋口恵子氏の呼びかけに応じて集められた体験40編が収録されています。

高齢者施設や医療現場の対応、自粛が求められる中での介護、日々何を考えどのように過ごしたかなど、感染対策に追われながらも家族や地域のために活動する高齢女性の、様々な姿が記されています。

### 『定点観測新型コロナウイルスと私たちの社会』2020年前半～2022年後半 森達也編著 論創社 2020～2023



コロナ禍において、日本社会がどのように対応した・しなかったのかを、半年ごとに定点観測し記録した6冊のシリーズ企画です。

社会学者や活動家、ジャーナリスト、ジェンダー研究者など多数の論者が参加しているほか、感染を経験した当事者の手記も収録されています。  
テーマは医療、貧困、ジェンダー、哲学、教育、経済、ネット、差別など多岐にわたります。

### 『コロナ禍妊娠日記』 おおがきなこ著 幻冬舎 2021



2020年のクリスマスに妊娠がわかり、「どうしよう、ムリだよ」と喜べなかった著者が、出産までに感じたことや考えたことを描いたコミックエッセイです。

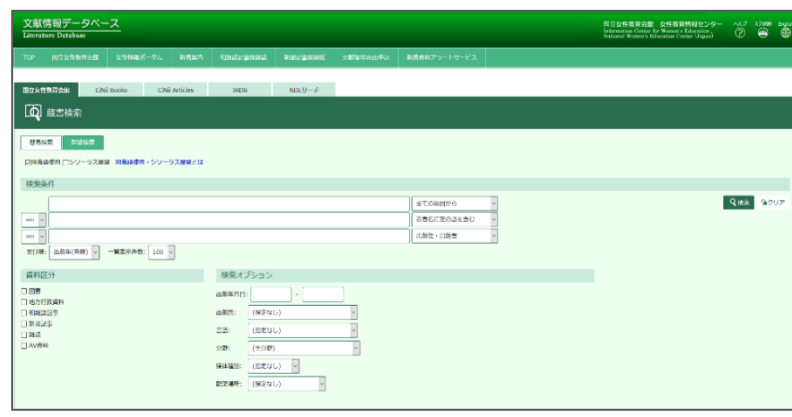
感染対策のため夫の付き添いなしの通院、家族や友人にも会えず、つわりに耐えたり出産後のことを考えて不安になったり。妊娠はおめでたいから幸せな顔をしなくちゃ、でもコロナ禍だから深刻な顔もしなくちゃ。そんな状況に「疲れちゃった」著者の気持ちが静かに綴られています。

女性・ジェンダー関連情報を調べるのに最適!



国立女性教育会館 文献情報データベース

https://winet2.nwec.go.jp/bunken/opac\_search/



文献情報データベースでできること

- ①女性教育情報センターの豊富な所蔵資料が検索できます  
図書・地方行政資料15万冊、雑誌4,200タイトル、  
新聞記事60万件、和雑誌記事8万件
- ②資料には、登録時に関連キーワードが付与されているため、  
幅広い、効率的な検索ができます

新着資料アラートサービス

https://www.nwec.go.jp/database/new.html



関心のある「キーワード」や「著者」などをあらかじめ登録すると、その条件にあった女性教育情報センターの新着資料をEメールでお知らせ!

図書の貸出、文献複写サービス



お近くの図書館や男女共同参画センター等を通じて、図書を貸出しています。(送料はご負担いただきます)  
埼玉県内に在住・通学・通勤の方は、埼玉県内公共図書館を通じて、図書を送料無料で貸出できます。



文献複写Web申込サービスを利用申請いただくと、インターネットでお申込みができ、ご自宅へ資料のコピーをお届けします。  
(有料:白黒1枚35円、カラー1枚80円+送料)。

https://winet2.nwec.go.jp/optsrv/opt\_psp\_login.php





## 🌻 世界では・・・

国連やユニセフなどの国際機関は、2020年～2022年に、コロナ禍における女性と女兒に向けたメッセージを多数出しています。



### 【新型コロナウイルスと人権：国連諸機関のメッセージ・声明】 (ヒューライツ大阪)

 <https://www.hurights.or.jp/japan/news2/2020/04/post-1.html>



## 🌻 関連するテーマ展示「女性の貧困 ～コロナ禍の中で～」



2022年1月～3月に、コロナ禍における女性の貧困に関する資料を展示しました。  
こちらもぜひご覧ください！

 <https://www.nwec.go.jp/event/center/poverty.html>



## 新型コロナウイルス 感染症とジェンダー

女性教育情報センターテーマ展示（10～12月）



<https://www.nwec.go.jp/event/center/coronagender.html>



編集・発行：独立行政法人国立女性教育会館 情報課

〒355-0292

埼玉県比企郡嵐山町菅谷728

TEL:0493-62-6195

URL:<https://www.nwec.go.jp/facility/center.html>



発行：2024年10月



本、あり。は国立女性教育会館リポジトリからダウンロードできます。

<https://nwec.repo.nii.ac.jp/records/2000199>

